

中学生版

図書館だより

<毛呂山町立図書館>

住所：毛呂山町岩井西4-18-1

TEL：295-1015 / FAX：294-8623

<図書館 URL>

<http://www.library.moroyama.saitama.jp>

<毛呂山町 URL>

<http://www.town.moroyama.saitama.jp>

<開館時間>

火～金 9:30～19:00， 土日・祝日 9:30～17:30

夏の暑さを
ふきとばせ！



毛呂山町立図書館キャラクターブックサンタ

【7月のカレンダー】

☐ …休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 調べる学習①
3	4	5	6	7	8	9 映画会 10時～おとな映画会「天使のいる図書館」 14時～子ども映画会「おまえうまそうだな」
10	11	12	13	14	15	16 調べる学習②
17	18 海の日	19 整理休館	20	21	22	23 おはなし会
4	25	26	27	28	29	30

【8月のカレンダー】

日	月	火	水	木	金	土
31 DIY教室	1	2	3	4	5	6
	10時～おとな映画会「グリーンブック」 14時～子ども映画会「怪盗グルーの月泥棒」					
7	8	9	10	11 山の日	12 振替休館	13 映画会
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 おはなし会
28	29	30	31 整理休館			

★図書館催し物のご案内★

夏休みDIY教室 ～自分だけのブックスタンドを作ろう～

7月31日(日) 14:00～16:30

自分の好きな本を並べられるブックスタンドを作ってみよう！

- 場所 図書館2階 視聴覚室
- 対象 小学校高学年～中学生
- 参加費 1000円(材料費、保険代)
- 定員 先着8名 ※小学生は必ず保護者同伴
- 持ち物 鉛筆、30cm定規、(持っている人はのこぎり、かなづち)
- 申込み 7月10日(日) 9:30から受付(電話可)



※ 新型コロナウイルスの感染状況等により、中止・延期になる場合があります。

今年も応募
待ってます！

第12回 もろやま「本の帯」コピーライター賞

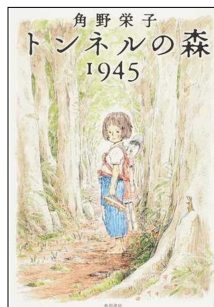


第8回 図書館を使った調べる学習コンクールinもろやま



これ読んでみて！本の紹介

この夏、戦争について考える



『トンネルの森1945』

角野 栄子／著 KADOKAWA 913. 6が

太平洋戦争のさなか、幼くして母を亡くしたイコは、父の再婚相手と生まれたばかりの弟とで疎開した。家のそばにある、暗く大きな森で脱走兵が自殺したという噂を耳にし…。『魔女の宅急便』の著者が、自らの戦争体験から書き下ろした物語です。

『晴れたらいいね』

藤岡 陽子 光文社 913. 67ジ

24歳の看護師・紗穂は、病室を廻っている時に激しい揺れを感じ、意識を失った。目が覚めるとそこは71年前、戦時中のマニラ。紗穂は日赤の従軍看護婦、雪野サエになっていた…。目の前の現実を受け入れ、戦場の病院で看護師として働くが、戦況は刻々と悪化していき…。生きることを決してあきらめない女性の姿を描いた異色の戦争小説。



『八月の光』

朽木 祥／著 偕成社 K913. 6ツ

あの朝、ヒロシマでは、一瞬で7万の人びとの命が奪われた。原爆投下のあとを生き抜いた10代の若者たちは、生き残った哀しみを記憶することで、生きる力を得ようとする。「なぜ私は生かされたのか」…死ぬも地獄、生き残るも地獄。原爆によって失われた命を無駄にしないためにも、今を生きる私たちは決して目を背けず、語り伝えていかないといけないのだと訴えかけてくる1冊。



『出発 から草もようが行く』

小泉 るみ子／作・絵 新日本出版社 Eシュ

戦争が終わり、自ら志願した予科練から家に帰された浩。「お国のために命を捧げるのだときびしい訓練を重ねてきたのに、今日から生きろと言われても、どう生きたらいいんだー」 だがある日、姉さんの嫁入り道具を東京から千葉までリアカーで運んでいると、おめでたい唐草模様の風呂敷を見た人々から励まされ…。戦争のなかを生きなければならなかった少年たちが、たくさんの困難を抱え、傷をひきずりながらも、戦後を出発してく様子を描いた絵本です。



『シリアで猫を救う』

アラー・アルジャリール／著、ダイアナ・ダーク／著、大塚 敦子／訳 講談社 302. 2ア

激戦地アレッポで、負傷した人々の救助活動を行いながら、同時に、取り残された猫たちの保護を始めた電気技師アラー・アルジャリール。2011年にはじまり、今世紀最悪の人道危機といわれるシリア内戦。38万人以上が死亡した、その厳しい現実を伝えるノンフィクションです。

『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』

加藤 陽子／著 朝日新聞社 210. 6カ

東大で教える教授が中高生に向けて行なった5日間の講義を書籍化した本。日本人が戦争へと突き進んでいった道をわかりやすく解説したのですが、中学生には少し難しいかもしれません。このタイトルにドキッとした人は、いつか読んでみてほしい1冊です。

